

令和6年度事業報告書

社会福祉法人 至福の会

法人本部

特別養護老人ホーム むさしの園

むさしの園ショートステイ

ケアハウス むさしの園

むさしの園デイサービスセンター

サービス推進課

ひまわり保育園

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

むさしの園デイサービスセンター富士見

むさしの園在宅介護支援センター

生活困窮者に対する相談支援事業

むさしの森保育園

目 次

法人本部	P1～P5
特別養護老人ホーム むさしの園 むさしの園ショートステイ	P6～P7
ケアハウス むさしの園	P8～P9
むさしの園デイサービスセンター	P10～P11
サービス推進課	P12～P13
ひまわり保育園	P14～P15
特別養護老人ホーム むさしの園わかば	P16～P17
むさしの園デイサービスセンター富士見	P18～P19
むさしの園在宅介護支援センター	P20～P21
生活困窮者に対する相談支援事業	P22～P23
むさしの森保育園	P24～P25

法人本部

1 社会福祉法人至福の会・法人の概要

- (1) 主たる事務所の所在地
埼玉県狭山市南入曽1044番地1
- (2) 代表者名
理事長 大野 裕 明
- (3) 法人認可年月日
平成9年3月19日
- (4) 法人認可番号
指令高福第1745号
- (5) 法人設立登記年月日
平成9年3月21日

2 法人の行う事業

(1) 第1種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	特別養護老人ホーム（従来型）	90名
2	特別養護老人ホーム（ユニット型）	100名
3	ケアハウス	20名

(2) 第2種社会福祉事業

No	施設種別	利用定員
1	ショートステイ	10名
2	デイサービスセンター（入曽）	60名
3	デイサービスセンター富士見	45名
4	在宅介護支援センター	
5	生計困難者に対する相談支援事業	
6	認可型保育園 むさしの森保育園	90名
7	一時預保育園 むさしの森保育園	10名

(3) 公益を目的とする事業

No	施設種別	利用定員
1	居宅介護支援事業	
2	企業主導型保育園 ひまわり保育園	19名

(4) 職員数260名

3 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	理事	監事	
令和6年6月4日	6	2	決議事項 1 令和5年度事業報告（案）について 2 令和5年度決算報告（案）について 3 令和5年度監事報告について 4 ホームヘルプ事業廃止について 5 むさしの森保育園の前期末支払資金残高の取崩（案）について 6 埼玉県介護福祉士就学資金等貸付制度の保証人について 7 常勤、非常勤給与規程、ひまわり保育園就業規則の一部改訂について 8 大規模修繕及びICT補助金について 9 定期評議員会の開催日と議題について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和6年 8月2日	6	2	決議事項（書面決議で同意書） 1 老人居宅介護等、訪問介護員養成事業について、前項2事業廃止に伴う定款変更について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和6年9月 6日	5	2	決議事項 第1部 1 個人情報取扱規程の全面改定について 2 大規模修繕に伴う一般競争入札会社について 第2部 一般競争入札の立会を行う。 第3部 1 一般競争入札の締結について 2 特別養護老人ホームむさしの園大規模修繕について
令和6年10月11日	5	1	決議事項 1 むさしの森保育園の重要な人事について 2 資金計画について 3 第1次補正予算（案）について 報告事項

			理事長の活動状況及び決裁について
令和7年1月6日	5	2	決議事項 第1部 1 行政監査報告について 2 資金計画の変更について 3 令和6年度介護ロボットITの導入事業の一般競争入札選定について 第2部 一般競争入札立会 第3部 1 入札業者の選定、承認について 報告事項 理事長の活動状況及び決裁について
令和7年3月26日	5	2	決議事項 1 就業規則の一部改訂について 2 令和6年度第2次補正予算について 3 令和7年度事業計画について 4 令和7年度当初予算について 5 次期役員等について 6 取引業者の評価について 報告事項 理事長の活動状況について

4 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数		審議・決議事項
	評議員	監事	
令和6年6月19日	7	2	書面決議事項 1 令和5年度事業報告について 2 令和5年度決算報告、社会福祉充実残額について 3 監事監査報告について 4 ホームヘルプ事業等廃止について 報告事項 1 理事長の活動状況について 2 大規模修繕について

5 監事監査の状況

監査年月日	監査内容及び結果
令和6年6月4日	<p>内 容</p> <p>社会福祉法人至福の会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人至福の会の財産の状況について「監事監査重点項目」に従って監査を実施した。</p> <p>結 果</p> <p>令和5年度の社会福祉法人至福の会の事業報告、財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び決算付属明細表は、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適性であった。</p>

特別養護老人ホーム むさしの園
むさしの園ショートステイ

事業所目標	<p>【1】稼働率 特養/ショートステイ 平均98%/年 ⇒97.2%未達</p> <p>【2】介護事故削減 前年対比15%目標 ⇒28%削減達成</p> <p>【3】保育園、デイ、ケアハウスとのイベント開催 ⇒達成</p> <p>【5】定着率向上（離職率10%未満）⇒12.9%未達</p> <p>【5】職場環境の改善 設備の充実と活用 大規模修繕・IT導入等実施</p> <p>【6】BCPの運用シュミレーション ⇒福祉避難所等シュミレーションの実施</p>
-------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】特養稼働	96.3	97.3	97.8	101.9	98.2	95.0	96.6	96.8	95.9	94.9	98.5	97.6	97.2%
入居件数	4	3	2	1	2	2	3	2	4	2	2	3	30
退去件数	3	2	1	0	5	4	0	3	3	2	3	1	27
													0
													0
													0
【環境改善】													
設備導入+実地研修	→												

行動目標

【稼働】

ショートステイから入居への移行が増えたことにより、ショートの稼働が想定を下回ってしまった課題としてショートの稼働改善への営業活動の見直しを実施。ベッドコントロールは相談員以外の現場責任者も含め対応するように移行

【事故削減】

1、前年対比15%削減 目標値 R5 事故件数300件 ⇒ R6 215件28%削減
 転倒事故が約3割減ったことで件数が減っている状況 ただし誤食・誤薬が増加傾向にあり入居者の入れ替わりによって傾向が変わっただけの可能性も考慮して引き続き削減に努める

【定着率向上】

メンタル不調を訴える退職者が2名 主な要因として人間関係と利用者のご逝去に対する不安など人間関係に関しては、ベテラン職員のハラスメントに対する意識の低さから来るものが確認された為、ハラスメントに関する職員研修及び個別指導を必要とする。

【職場環境の改善】

- 1、介護ソフト入れ替え実施
- 2、大規模修繕及びIT導入補助金により環境改善
 空調、厨房機器、ナースコール入れ替え（介護ソフトとの連携）完了

ケアハウスむさしの園

事業所目標	【1】稼働率 平均95%/年 ⇒ 94.8%未達 【2】クラブ活動 【3】外出レクの再開
-------	----------------------------------------------------

結果	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計	平均
稼働(平均)	93.7	100.0	100.0	93.7	100.0	100.0	100.0	100.0	87.5	87.5	87.5	87.5	1137.4	94.8
クラブ活動	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48	4.0

<p>【稼働】 入院・死亡退去への補填が追いつかず、待機申込者についても実態調査の結果ケアハウスでの受け入れが困難な状態への移行も進んでおり、待機申込者の状況確認等改善を要する結果となりました。</p> <p>【クラブ活動の再開】 クラブ活動週1回以上のペースで定期的な開催 手芸クラブ 保育園の手作りおもちゃの製作、衣装の製作を請け負い。園児との定期的な交流を増やすことができ相互に良い関係性が構築できるようになってきました。</p> <p>【外出レクの再開】 地域への買い物レクを毎月開催し、外出機会を増やします。 イオンもオープンし外出先も増え楽しみにされているご意見も増えてきました。</p>

むさしの園デイサービスセンター

事業所目標	【1】稼働率 月間延べ人数850以上を目指す 【2】クオリティーインプルーブメントに取り組む 【3】高齢者虐待ゼロを目指す 【4】感染症に対する知識・対応力のレベルアップ 【5】事業継続計画（BCP） 【6】定着率向上（離職率10%未満）
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行動目標	4月～6月			7月～9月			10月～12月			1月～3月			合計
【1】稼働	764	817	847	888	847	790	849	823	823	841	847	898	10034
【1】新規申込	4	5	4	5	2	8	1	6	9	4	5	6	59
【2～4】内部監査					1			1			1		3
【2～4】研修実施	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
【5】環境改善	1			1			1			1			4

行動目標

<p>【稼働率および利用状況に関する報告】</p> <p>【1】本年度は、平均稼働率80%を目標に取り組みを進めてまいりましたが、結果としては65%の実績となり目標には及びませんでした。しかし、前年度（稼働率52%）と比較しても13ポイントの改善が見られ、回復傾向が着実に進んでいることが確実となりました。</p> <p>また、月間延べ利用者数においても、目標としていた850名以上にわずかに届かず、実績は840名となりましたが、前年より大きく増加しており、地域の中でのサービス利用が徐々に戻りつつあることがうかがえます。この回復の背景には、地域包括やケアマネとの連携強化、見学、体験利用の受け入れなどの体制の整備、また職員の地道な取り組みによる現場改善などがあります。</p> <p>一方で、近年要介護3以上の利用者の増加により在宅での支援が困難なケースが増え、通所サービスに繋がりにくい傾向も見られました。これからは今後の対応課題として認識していきます。</p> <p>【今年度の取り組みとその成果【2】～【6】】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時を想定した防災訓練（合同）・訓練イベント（芋煮）の実施、職員の対応力向上を図りました ・感染症対策に関する職員研修（デイ会議）を定期的に行い、知識・対応スキルの底上げと現実定着の促進 ・ヒヤリハットの共有・サービス改善ミーティングの実施（デイ会議）などQIの取り組みにより現場力の向上に努めました。 ・職員の定着率に力を入れ、離職率10%未満を維持するなど、安定した運営体制の基盤づくりを進めました <p>これらの取り組みを通じて、「選ばれる施設づくり」「信頼される職場づくり」に向けた基盤が一步步つ整いつつあります。来年度も継続的な見直しと改善を重ね、より良いサービス提供を目指して参ります。</p>

サービス推進課

事業所目標	<p>【1】採用：昨年からの大幅な賃上げ等が拡大していく中で、大手及び異業種の求人市場調査を行い、法人の魅力や特色を見えやすくし人員を確保する。 介護職等：45人（内新卒4人）、保育職等：5人（内新卒2人）</p> <p>【2】人材定着支援：各部署からの情報をサイボウズや訪問等をして情報共有</p> <p>【3】離職防止：法人全体の離職率を10%未満（実態調査では14.4%）</p>
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校訪問	0	3	2	17	0	0	1	0	5	2	0	2	32
合同説明会	0	1	1	2	1	6	2	2	0	1	2	1	19
採用数	10	3	3	2	0	4	6	3	2	2	0	1	36
離職状況	2	3	2	4	3	4	1	1	4	2	3	11	40
介護離職率 17.3%（前年度比+0.3%） 保育離職率 10.9%（前年度比-14.1%）※夏季短期アルバイト1名除く													

目標に対する評価

<p>【採用目標】</p> <p>1.採用実績：介護 32人（内新卒 3人）、保育 4人（内新卒 3人） ※夏季短期アルバイト1名除く</p> <p>2.問合せ件数：145件（前年度比 -57件）</p> <p>3.面接回数：69件（前年度比 -28件）</p> <p>4.学校訪問：達成度合い 53.3%</p> <p>5.合同説明会：達成度合い 158%</p> <p>6.採用活動管理：応募比率 ①ジョブメドレー 応募48件/総応募145件・応募率33.1% ②採用HP 応募29件/総応募145件・応募率20% ③ハローワーク 応募16件/総応募145件・応募率11%</p> <p>7.採用活動費用：予算 6,000,000円 実績 6,061,694円 -61,694円 ※以下詳細 採用HP広告運用費 2,359,599円（一人当たりの採用費用 471,919円） 有料掲載費用 ①ぱど 372,515円（採用なし） ②medica 495,000円（1名採用） 採用課金型採用費 ジョブメドレー 847,000円（3名採用）</p> <p>【定着支援目標】</p> <p>1.新卒フォローアップ面談 介護3名 実施9件/未実施3件 保育3名 実施3件/未実施9件</p> <p>2.中途フォローアップ面談 実施13件/未実施5件（令和6年12月入職以降） リスクになってしまった対象者など、実施できていない職員が残っている</p> <p>3.雇用環境・条件整備 雇用環境を地域水準よりも上回るための、施策（近隣同業種や他業種の市場調査など） →未着手</p> <p>【離職防止】</p> <p>1.職員面談：粒度の大きいヒアリング内容（職員同士のトラブル、不眠などのメンタル不調、退職意向など）は施設長や各役職者へ迅速に共有</p> <p>2.施設長と情報共有：推進課で得た情報をサイボウズや口頭で共有したが、離職防止に直結したとは言い難い</p>

ひまわり保育園

目 標	<p>【1】入園児を6月までに12名（稼働率63%）を達成する。⇒未達</p> <p>【2】共同利用の促進（上期中に2企業2園児との契約を目標とする） ⇒2企業との契約は締結しましたが、入園の実績には至らず未達</p>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和6年度の入園児目標

クラス	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
地域	6	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8	8	8.3
従業員	2	3	3	3	3	3	3	5	5	5	5	5	3.8
共同	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	8	10	11	11	12	12	12	14	14	14	13	13	12.0
稼働率	42%	53%	58%	58%	63%	63%	63%	74%	74%	74%	68%	68%	63.2%

行動目標

【入園児目標】

共同利用の実績が作れず従業員枠の確保が想定通り進めることができなかった
 地域枠に関しては申込を順調に獲得できましたが、認可園への転園などによる辞退が想定を上回る結果となり、地域枠の早期定員目標の達成が8月にずれてしまった。

【保育の質の向上】

- ・育成協会による立ち入り調査など重大な指摘もなく適切な運営及び保育の年間計画に基づく保育活動が概ね年間計画通りに実施することができた
- ・異年齢保育による活動は行えたが、異年齢でのトラブルヒヤリハットの削減は微減に留まった。
- ・重大事故はありませんでしたが、噛みつき等事故は多く防ぎきれていなかった。

【仕事の効率化】

- ・新しい請求システム（ピムス）への移行は問題なく実施できました。
- ・チャイルドケアウェブの機能を活用し、業務内でのペーパーレスは順調に行えている。
- ・職員の定着は良く、配置上の問題はありましたが、今後の受け入れ枠拡充の為人員の増員配置の見直しは必要。

特別養護老人ホーム むさしの園わかば

事業所目標	【1】年間平均稼働率 98%以上	→ 93.02 % 未達
	【2】ケアマニュアル及び具体的支援場面の浸透	→ 一部達成
	【3】個別ケア、認知症ケアのスキル向上	→ 一部達成
	【4】人財育成（意識改革と資質の向上）	→ 研究発表準備により達成
	【5】職員定着率アップ（離職率10%以下）	→ 特養全体で20.8% 未達

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】全体稼働	95.8	91.7	91.8	91.6	91.7	91.2	92.3	93.4	93.8	93.4	94.1	95.4	1116	93
【1】特養延べ人数	2827	2844	2754	2814	2791	2628	2740	2724	2846	2882	2582	2856	####	2774
【1】延べ入院人数	75	91	64	93	94	56	38	22	78	62	94	93	860	71.7
【1】新規申し込み	5	4	4	1	3	3	2	3	5	3	12	5	50	4.17
【1】入居数	0	1	2	0	2	1	3	3	3	4	2	7	28	2.33
【1】退居数	4	2	3	1	2	3	0	1	4	2	4	2	28	2.33
													0	#DIV/0!

目標に対する評価

<p>【1】稼働について</p> <p>年度当初から入居が進まず、年間を通じて満床にすることができなかった。</p> <p>要因としては、申し込み数に対して入居割合が低いこと、医療ニーズの高い方の問合せが多かったこと 新型コロナ等感染症の発生により、入居の延期や状態変化によって入居を中止するケースが多かったこと 下期に申し込みや新規が増えているが、定期的な営業活動につなぐことができなかったことが考えられる</p> <p>【2,3】ケアマニュアルの浸透及び具体的支援場面の浸透、個別ケア、認知症ケアのスキル向上</p> <p>ユニット単位でケアマニュアルから月間目標を設定するなどマニュアルを意識した取り組みができていた しかしながら取り入れが進まなかったユニットもあり、対応が施設として統一できていなかった</p> <p>実践研究発表の機会を作ったことにより、ユニットで団結して取り組むことができたことは大きな成果であった</p> <p>【4】人財育成</p> <p>上記同様、実践研究発表に取り組めたユニットは、多職種連携や対象者を多角的な視点で捉えることができ、また発表資料についてもメンバーで協力して作成できたことに充実感を得られたという声も聞くことができた</p> <p>【5】職員定着率アップ（離職率10%以下）</p> <p>年間離職者数16名 離職率20.8%</p> <p>退職理由として、人間関係によるもの1名、病欠によるもの5名（うち2名メンタル疾患による）、 慢性的な人手不足によるもの3名、母国へ帰国1名、学校との両立困難1名、待遇面（通勤、給与等）2名、 定年後体力低下2名、転職希望1名</p> <p>人手不足による慢性的な疲労や体力低下等について、適切な人員配置及び職場環境改善が必要</p>

むさしの園デイサービスセンター富士見

事業所目標	【1】月延人数 950人 【2】自立支援と認知症ケアのスキル向上 【3】事故再発予防、高齢者虐待防止、クレーム処理等の対応力の向上 【4】BCP業務継続計画（災害・感染症）の研修と訓練の実施 【5】働きやすい環境作りと職員の定着率向上（離職率10%未満）
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	前年度
【1】月延人数	927	963	856	973	927	852	930	935	881	858	859	908	10869	906	937
【1】介護給付	827	855	756	863	817	750	821	830	806	783	778	822	9708	809	848
【1】総合事業	100	108	100	110	110	102	109	105	75	75	81	86	1161	97	89
【1】新規申込	5	3	2	9	2	2	4	5	3	3	4	5	47	3.9	3.8
【1】登録廃止	4	4	2	6	10	2	5	1	3	5	1	3	46	3.8	3.8

行動目標

<p>【1】月延人数 法人目標の850人はクリアできたが事業所目標の950は達成できませんでした。人員不足により新規獲得に向けての営業が減少、収束しない新型コロナの感染等が未達成の要因と思われます。総合事業は、前年度より年間100人ほど増加となりました。前年に引き続き、現行相当サービスの受け入れに力を入れた事が考えられます。令和7年度も大規模Iを維持する事ができました。</p> <p>【2】自立支援と認知症ケアのスキル向上 現行相当サービスのご利用者増加に伴い、自立支援のニーズも増加傾向です。自宅での生活を意識し、自身で出来る事は頑張ってもらい、サポートをしっかりと行うという在宅を意識したサービスに取り組みました。</p> <p>【3】事故再発予防、高齢者虐待防止、クレーム処理等の対応力の向上 1件の転倒骨折事故が発生したが、適切な処理及び関係各所への迅速な対応によりスムーズに進行しトラブルにならず完了いたしました。事故原因を職員で話し合い再発防止に繋げました。</p> <p>【4】BCP業務継続計画（災害・感染症）の研修と訓練の実施 BCP業務継続計画に基づき、災害と感染症発生時の定期的な訓練と見直しを行いました。</p> <p>【5】働きやすい環境作りと職員の定着率向上（離職率10%未満） 新規採用は、介護職2名、補助パート1名、運転手1名。退職者は、補助パート1名、運転手1名（定年）。離職率9%で目標達成。新規採用が難しい中、離職防止の為に処遇改善や環境改善に取り組みました。休憩室へのテレビ設置、年末の事業所忘年会、補助パートの拡充等で働きやすい職場を目指しました。</p>

むさしの園在宅介護支援センター

事業所目標	【1】 担当件数（請求件数）月205件 →月197.5件 未達
	【2】 新規件数 年間50件 →57件 達成
	【3】 予防給付担当件数 月20件 →24.5件 達成
	【4】 地域貢献活動 →予定通り 達成
	【5】 研修、会議 →予定通り 達成

結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
【1】 担当件数	182	187	191	195	192	207	206	202	207	205	198	198	2370	197.5
【2】 新規件数	3	6	7	6	3	6	10	8	2	3	1	2	57	4.8
【3】 予防給付	22	24	24	22	24	25	25	26	26	26	25	25	294	24.5
【4】 わかばカフェ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	#DIV/0!
【5】 研修・会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	#DIV/0!

目標に対する評価

<p>【1】 担当件数 担当件数は、介護・予防合算で月平均 197.5件となり、前年度に比べ1.1件増加したが、目標は未達であった</p> <p>【2】 新規件数 年間57件となり、目標の50件は達成した 近隣包括の圏域会議に定期的に参加し、顔の見える関係づくりを行うことができた</p> <p>【3】 予防給付 予防件数は月平均24.5件となり、目標の20件は達成した。 介護給付から予防給付へ変更になるケースも多く、対応に苦慮することがあった</p> <p>【4】 わかばカフェ わかばカフェを再開し、以前のように毎月実施ができた 集客が伸びずに固定の方数名の参加が主だったが、来られた方々からは好評をいただいた 下期後半からはケアハウスの入居者の参加もあり、少しずつ以前の活気を取り戻している</p> <p>【5】 研修、会議 会議については、事業所内の会議、包括主催の圏域会議等予定通りに実施や参加することが出来た 外部の居滝介護支援事業所と連携し、事例検討会を開催することができた。今後も他法人との連携機会を増やしていけるよう取り組みたい</p>

生活困窮者に対する相談支援事業

事業所目標	<p>【1】初回相談時には支援の必要性を協議し、判断する</p> <p>【2】相談開始から3か月以内で終結することを目標とする</p> <p>【3】市内、県内のセーフティ事業者連絡回答の研修へ参加し技術、技能の研鑽を行う</p>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	相談時期	紹介先	年齢	性別	支援金額	支援費の内訳	支援期間	その他
1	令和6年4月	狭山市社協	73	女	70118	光熱水費、医療費、通信費	1ヶ月26日	
2	令和6年5月	市、社協	68	男	9240	交通費	1ヶ月2日	
3	令和6年5月	狭山市社協	62	男	21707	通信費	4ヶ月9日	
4	令和6年5月	狭山市社協	60	男	24458	光熱水費	3日	
5	令和6年6月	狭山市社協	51	男	37187	食料、通信費	15日	
6	令和6年7月	狭山市社協	68	男	25351	食料、交通費	21日	
7	令和6年7月	狭山市社協	62	男	6757	食料	2日	
8	令和6年8月	狭山市社協	86	男	37418	食料、光熱水費	1ヶ月16日	
9	令和6年8月	狭山市社協	37	男	8639	光熱水費	3日	
10	令和6年8月	市	32	男	21294	光熱水費	8日	
11	令和6年8月	狭山市社協	47	男	5500	その他（ホテル代）	1日	住居確保
12	令和6年8月	狭山市社協	54	男	35664	光熱水費、医療費	6ヶ月6日	
13	令和6年9月	市	56	女	59761	光熱水費、居住費	2日	
14	令和7年1月	狭山市社協	64	男	14066	食料、通信費、日用品費	7日	
15	令和7年2月	狭山市社協	73	男	39863	光熱水費	継続中	
16	令和7年2月	狭山市社協	52	女	16830	医療費、その他（ホテル代）	2カ月7日	住居確保
17	令和7年3月	狭山市社協	57	女	24288	光熱水費、食料、交通費	継続中	

目標に対する評価

<p>【1】初回相談 彩の国安心セーフティネット事業の適用かどうかについて、行政機関とのすり合わせが必要だった狭山市社協の呼び掛けにより、市の自立支援相談員や福祉課の担当者と事業の内容の共有ができた しかしながら、支援者レベルでは対応困難なケースの相談があったため、繰り返しすり合わせの機会を作っていく必要性を感じた</p> <p>【2】支援期間 支援期間については概ね3ヶ月以内に終結することができていた ケースによっては見立てが不十分なまま支援に移行せざるを得ないケースもあった。そのようなケースは支援期間が長くなってしまいう傾向があることが理解できた</p> <p>【3】研修事業への参加 相談エリアの拡大により、支援回数も大幅に増えた（前年比+7件）支援金額合計458,141円 支援相談員も3名体制となり、それぞれの業務に兼務する形で役割分担が少しずつできるようになった まだ対応歴のない支援相談員もいるため、研修等の機会は積極的に参加できるよう促していく</p>

むさしの森保育園

事業所目標	<p>【1】年間稼働率平均104%</p> <p>【2】離職率10%未満を目指します</p> <p>【3】一時預かり保育は、年間利用人数の目標を350人以上をめざします</p> <p>【4】自然環境を取り入れた保育の実践。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

行動目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
利用数	89	89	89	92	93	93	93	93	93	93	93	93	92
内訳	0歳児	5	5	5	8	9	9	9	9	9	9	9	8
	1歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	2歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	3歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
	4歳児	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	5歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
稼働率	99%	99%	99%	102%	103%	103%	103%	103%	103%	103%	103%	103%	102%
一時預かり事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用目標数													372

行動目標

<p>【1】年間稼働率平均104%を目指します。</p> <p>年間稼働率平均102%となりました。3歳児以上の弾力受け入れを18人以上にしていけないと104%の達成は不可能です。また、0歳児の入園がなかなか埋まらなかったことと、6月に乳児担任が退職したことで保育士が足りなくなり0歳児を10人まで受け入れることができなくなってしまったことも原因の一つです。</p> <p>【2】離職率10%を目指します。</p> <p>退職者は5名で13.9%。中途採用者が3名、新卒2年目が2名でした。クラス間の連携が問題になった際には指導を行ったり、なかなか仕事を覚えられない職員に対しても様々工夫して指導できていたと思います。</p> <p>【3】一時預かり保育は、年間利用人数の目標を350人以上をめざします。</p> <p>6年度からは、一時預かりの児童は在園児童のクラスで一日を過ごす方法に変更しました。保育士も通常クラスで一時預かりの子どもを保育することで、クラスの保育のフォローもできていたと思います。また、一時預かり保育の部屋を使用しなくなり電気代などもおさえることができました。一部保護者からは以前のような運用がいいというお声をいただきましたが、同年齢の子どもたちと過ごすことのメリットをお伝えするように対応いたしました。</p> <p>【4】自然環境を取り入れた保育の実践</p> <p>新しい自然保育リーダーとなり1年間で大きな変化がありました。まず5月に自然保育を推進している「けやのもり保育園」の森に視察にいき、こどもたちが過ごしやすい森林環境を学びました。そこから、保護者様の協力も得て森の環境改善に取り組むこととしました。令和6年度は3回土曜日に保護者様にお集まりいただき、木の伐採、抜根、小屋づくりの木材手配、小屋づくりを行うことができました。今後は、森林ゾーンの開発にかかる費用に対して募金活動など考慮にいれて継続していきたいと考えております。</p>
